

製品名: ブラジキニン B1 R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07638**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	BDKRB1
別名	BDKRB1; BRADYB1; B1 bradykinin receptor; B1R; BK-1 receptor
遺伝子 ID	623.0
SwissProt ID	P46663
免疫原	抗血清はヒト BDKRB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

背景

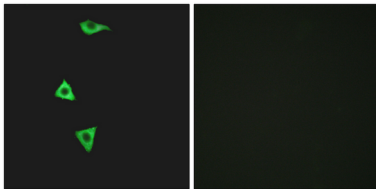
ブラジキニンは9アミノ酸ペプチドであり、炎症、外傷、熱傷、ショック、アレルギーなどの病態生理学的状態において産生されます。ブラジキニンに結合し、これらの病態生理学的状態への反応を媒介する2種類のGタンパク質共役受容体が発見されています。

この遺伝子によってコードされるタンパク質はこれらの受容体の1つであり、組織損傷後に新規に合成されます。受容体への結合は細胞質カルシウムイオン濃度の上昇につながり、最終的には慢性および急性の炎症反応を引き起こします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されています。[RefSeq 提供、2011年9月]、機能: これはブラジキニンの受容体です。慢性疼痛および炎症の要因となる可能性があります。、オンライン情報: ブラジキニン受容体エントリ、類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。、

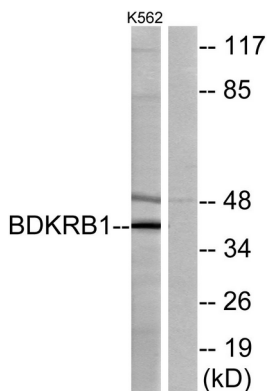
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;補体および凝固カスケード;アクチンおよび細胞骨格を調節します。

画像データ



BDKRB1抗体を用いたLOVO細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



BDKRB1抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。